

投稿	投稿に関する編集委員会委員長の講評	藤原章正 FUJIWARA Akimasa	004
報告論文 Report	人口稀薄地域において並行する鉄道とバスの連携とその課題 —JR四国による取組みを事例に— Coordination Between Parallel Railways and Buses in Sparsely Populated Areas and Its Challenges	柴田卓巳 SHIBATA Takumi	005
	国際航空貨物輸送手続のデジタル化に関する現状と課題 —わが国における空港の視点から— Current Situation and Issues of Digitalization on Procedures of Air Cargo Logistics in Japan : from the Viewpoint of Airport	飯田純也 IIDA Junya 酒井洋一 SAKAI Yoichi	013
研究報告 Research Report	米国の都市鉄道に迫る“財政の崖”の現状とその解決に向けた対応 The "Fiscal Cliff" Looming for Urban Railroads in the U.S. and Measures Against the Issue	岡部朗人 OKABE Akiro	028
	アメリカ航空産業の現状と今後の展望 Current Status and Future Prospects of the U.S. Aviation Industry	福原和弥 FUKUHARA Kazuya	031
	米国空港における民間参画の取組と今後の展望 Private Sector Participation at U.S. Airports and Outlook for the Future	萩原徹大 HAGIWARA Tetsuhiro	037
	平成期における我が国の交通運輸・観光政策 Research on Japan's Transport and Tourism Policies in the Heisei Era		
	研究概要		042
	第1章 国鉄改革	竹内健蔵 TAKEUCHI Kenzo	043
	第3章 物流	根本敏則 NEMOTO Toshinori	056
	第17章 観光	廻 洋子 MEGURI Youko	077
書評 Book Review	世界に学ぶ自転車都市のつくりかた —人と暮らしが中心のまちとみちのデザイン— 宮田浩介=編著 小畠和香子・南村多津恵・早川洋平=著	鈴木美緒 SUZUKI Mio	092
	総合交通体系論の系譜と展開 杉山雅洋=著	森山誠二 MORIYAMA Seiji	093
	地域公共交通の有する多面的な効果（クロスセクター効果）算出ガイドライン <標準版> クロスセクター効果研究会=著 一般財団法人地域公共交通総合研究所=編集	藤崎耕一 FUJISAKI Koichi	094
	環境と港湾 —CNPによる日本港湾の復権にむけて— 森 隆行=著	杉村佳寿 SUGIMURA Yoshihisa	095
	観光大国スペインに見る、オーバーツーリズムの現在と未来 高城 剛=著	古屋秀樹 FURUYA Hideki	096

【表紙写真】

(左) 2024年3月16日に金沢～敦賀間が延伸開業した北陸新幹線。東京～福井間を2時間51分、東京～敦賀間を3時間8分で結ぶ。
(写真提供: JRRTT鉄道・運輸機構)

(右) 時速20km未満で公道を走る電動車、グリーンスローモビリティ。観光地での回遊交通としての活用も期待されている。
(写真撮影: 運輸総合研究所)

外国論文紹介 Introduction of Foreign Papers	自律型電気自動車のライドシェアは大都市郊外部で人々の移動にどの程度威力を発揮するか？	湧口清隆 YUGUCHI Kiyotaka	097
	鉄道運営における資金調達手法の国際比較	板谷和也 ITAYA Kazuya	099
	空コンテナ回送削減方策の検討	川崎智也 KAWASAKI Tomoya	101
	「空飛ぶクルマ」の需要とその決定要因	松尾美和 MATSUO Miwa	103
	自動運転技術がもたらす消費者経験：家族の絆の強化と社会的接触の減少	加藤拓巳 KATO Takumi	105
国際学術誌出版論文の執筆者本人による解説 Research Activities	運輸総合研究所の研究活動等 2024年3月7日～2025年3月4日		109
研究活動 Research Activities			117
論文等投稿のご案内 Information for Paper Submission			
編集委員コラム Column by Editorial Board	小人口社会を迎える北海道の移動イノベーション	有村幹治 ARIMURA Mikiharu	128